

令和5年度 第3学年 音楽科 年間指導・評価計画（年間35時間）

目標	<ul style="list-style-type: none"> ・曲想と音楽の構造や背景などとの関わり、音楽の多様性について理解する。 ・創意工夫をいかした音楽表現するのに必要な、歌唱、器楽創作の技能を身につける。 ・曲にふさわしい音楽表現を創意工夫することや、音楽を評価しながらよさや美しさを味わって聴くことができるようにする。 ・音楽文化に親しむとともに、音楽によって生活を明るく豊かにしていく態度を養う。
----	--

評価の観点：①知識・技能 ②思考・判断・表現 ③主体的に学習に取り組む態度

月	時間	題材名	単元のねらい 主な学習内容	評価の規準(評価方法)
4 ～ 5	6	日本の歌のよさや美しさを味わい、表現を工夫しよう 「花」「花の街」◇	曲想と音楽の構造や歌詞の内容および曲の背景との関わりについて理解すると共に、それらをいかした歌唱表現を創意工夫して歌う。	<ul style="list-style-type: none"> ① 曲想と音楽の構造や歌詞の内容および曲の背景との関わりについて理解している。(定期考査) ② 旋律、強弱を知覚し、それらの働きが生み出す特質や雰囲気を感じながら、知覚したことと感受したこととの関わりについて考え曲にふさわしい歌唱表現としてどのように表すか思いや意図を持っている。(ワークシート) ③ 曲想と音楽の構造や歌詞の内容との関わりに関心を持ち音楽活動を楽しみながら学習活動に取り組もうとしている。(授業観察)
5 ～ 10 ◆	4	音楽の特徴や背景を理解して、その魅力を味わおう 「ブルタパ」◇	音楽の特徴を、音楽を形作っている要素や、構造、曲想との関わり、背景などから理解し、そのよさを味わう。	<ul style="list-style-type: none"> ① 曲想と音楽の構造との関わり、音楽の特徴とその背景となる歴史との関わりについて理解している。(定期考査) ② 音色・旋律・リズム・強弱・速度・ハーモニーを知覚し、それらの働きが生み出す特質や雰囲気を感じながら、その関わりについて考えるとともに曲の美しさを味わって聴いている。(ワークシート) ③ 曲想と音楽の構造や曲の背景との関わりに関心を持ち音楽活動を楽しみながら学習活動に取り組もうとしている。(授業観察)
	7	曲の構成や曲想の変化を生かして歌唱表現を工夫しよう 「合唱コンクールの合唱曲」◇	曲想と音楽の構造や歌詞の内容との関わりについて理解し、それを生かして創意工夫して歌う。	<ul style="list-style-type: none"> ① 創意工夫をいかした表現で歌うために必要な発声、言葉の発音、身体の使い方などを身につけて歌唱で表現している。(実技テスト) ② リズム・旋律・強弱・形式を知覚し、それらの働きが生み出す特質や雰囲気を感じながら知覚したことと感受したこととの関わりについて考えどのように歌うか思いや意図を持っている。(ワークシート・定期考査・実技テスト) ③ 音楽活動を楽しみながら学習活動に取り組もうとしている。(授業観察)
	2	曲想と音楽の構造との関わりを理解してその魅力を味わおう 「ボレロ」	曲想と音楽の構造との関わりについて理解するとともに、曲や演奏に対する評価とその根拠を自分なりに考え、音楽のよさ、美しさを味わう。	②音色・旋律・形式・構成・強弱を知覚し、それらの働きが生み出す特質や雰囲気を感じながら、その関わりについて考えるとともに曲の美しさを味わって聴いている。(ワークシート・授業観察・定期考査))
10	3	曲想や語感を生かして表現を工夫しよう 「帰れソレントへ」「Let It Be」	背景をとらえることで、音楽の多様性を理解し、曲想を生かして表情豊かに歌う。	<ul style="list-style-type: none"> ①声の音色や響きおよび言葉の特性と曲趣に応じた発声との関わりについて理解している。(定期考査) ②リズム、速度・強弱・旋律を知覚し、その働きが生み出す雰囲気を感じながら、その関わりについて考えるとともに曲にふさわしい歌唱表現としてどのように表すか思いや意図を持っている。(ワークシート・授業観察)

11 ◆	2	日本の伝統音楽の特徴を理解してその魅力を味わおう 「楽鶴鈴慕」	我が国の伝統音楽の特徴と、その特徴から生まれる音楽の多様性について理解するとともに、音楽表現の共通性や固有性について考え、音楽のよさ、美しさを味わって聴く。	② 音色・旋律を知覚し、それらの働きが生み出す特質や雰囲気を感じながら、その関わりについて考えると音楽表現の共通性や固有性について考えるとともに曲の美しさを味わって聴いている。(ワークシート)
11 ～ 12	4	言葉のつながりを生かして創作表現をしよう 「My Melody」	音階の特徴および音のつながり方について理解するとともに、それらを生かしたまとまりのある創作表現を創意工夫して音楽を作る。	① 音階の特徴および音のつながり方の特徴について理解している。(ワークシート) ① 創意工夫を生かした表現で旋律や音楽をつくるために必要な、課題に沿った音の選択や組み合わせなどの技能を身につけて創作で表している。(ワークシート) ② リズム・旋律・構成を知覚し、それらの働きが生み出す特質や雰囲気を感じながら知覚したことと感受したことの関わりについて考えまとまりのある創作表現としてどのように表すか思いや意図を持っている。(ワークシート)
12 ～ 1	2	能の特徴を理解してその魅力を味わおう 能「羽衣」	音楽の特徴と他の芸術との関わりについて理解し、曲や演奏に対する評価とその根拠について考え、音楽を味わって聴く。 謡の特徴をとらえ、曲趣に応じた発声で歌う。	② 音色・旋律・形式・構成を知覚し、それらの働きが生み出す特質や雰囲気を甘受しながら、その関わりについて考えるとともに曲の美しさを味わって聞いている。(ワークシート)
	2	世界の多様な音楽の特徴を理解して、その魅力を味わおう 「世界の諸民俗の音楽」★	諸外国の音楽を聴き、音楽表現の多様性を理解し、音楽のよさ、美しさを味わって聴く。	① 諸外国の様々な音楽の特徴とその特徴から生まれる音楽の多様性について理解している。(ワークシート)
1 ～ 3	3	仲間とともに、表情豊かに合唱しよう。	曲想と音楽の構造や歌詞の内容との関わりについて理解し、それを生かして創意工夫して歌う。	① 創意工夫をいかした表現で歌うために必要な発声、言葉の発音、身体の使い方などを身につけて歌唱で表現している。(実技テスト) ② リズム・旋律・強弱・形式を知覚し、それらの働きが生み出す特質や雰囲気を感じながら知覚したことと感受したことの関わりについて考えどのように歌うか思いや意図を持っている。(ワークシート) ③ 音楽活動を楽しみながら学習活動に取り組もうとしている。(授業観察)

◆定期考査 ◇道徳 ★オリンピックパラリンピック教育 ☆人権教育

評価計画(各観点の評価方法)

観点	① 知識・技能	② 思考・判断・表現	③ 主体的に学習に取り組む態度
観 点 の 趣 旨	・曲想と音楽を形作っている要素についての関わりを理解している。 ・歌唱・器楽・創作表現をするために必要な技能を身につけている。	・音楽を形作っている要素を知覚し、それらが生み出す特質や雰囲気を感じ、知覚したこととの関わりについて考え、どのように表現するか思いや意図を持っている。また、曲や演奏に対する評価とその根拠を考え、音楽のよさや美しさを味わって聴いている。	・曲想と音楽を形作る要素との関わりに関心を持ち、音楽活動を楽しみながら、主体的・協働的に学習活動に取り組む。
評 価 の 方 法	・実技テスト ・ワークシート ・定期考査	・ワークシート ・実技テスト ・定期考査	・授業観察 ・提出物 ・定期考査

学習のアドバイス

- (1) **授業態度** いつでも積極的に取り組みましょう。忘れ物がないようにしましょう。
- (2) **提出物** 指定された期限に必ず出しましょう。丁寧に記入しましょう。
- (3) **ふりかえり** 定期テストの前には必ず復習をしましょう。音楽の表現に関する言葉、記号、その意味についてはしっかり覚えましょう。

